

FD News letter

 No.4
 2015年

CONTENTS

1. FD ワークショップ

1. 開催概要

2016年2月25日(木)に世田谷キャンパス2号館21B教室において、FDワークショップが開催された。本年度のテーマは、「アクティブ・ラーニングアンケート結果の報告とアンケート結果から抽出した課題に関する検討」であり、昨年行ったアクティブ・ラーニングの実施状況アンケートの報告と課題の抽出・検討が行われた。

2. アンケート結果

2015年11月19日～2015年12月12日に、全専任教員を対象にアクティブ・ラーニングの実施状況のアンケートが実施された。Webclassを用いた選択回答方式であり、127名(全専任教員の42.5%)の専任教員より回答が得られた。アンケートの質問項目は、「初年度ゼミ」、「知識の定着を目的としたアクティブ・ラーニング科目」、「課題解決を目的としたアクティブ・ラーニング科目」、「専門ゼミ・専門研究」、「卒業論文・卒業研究」、「共通教育部」であり、どのようなアクティビティ(「ドリル」、「実験・実習」、「小テスト」、「グループワーク」、「教え合い」)が実施され、効果を得ているかが問われた。



(1)初年度ゼミにおいては、学科により「ドリル」・「実験・実習」・「小テスト」主体、「グループワーク」・「教え合い」主体、どちらも の3者に分かれた。(2)知識定着を目的とした場合は、初年度ゼミに比べ、「ドリル」・「実験・実習」・「小テスト」主体、「グループワーク」・「教え合い」主体、どちらも の3者の区別がつきにくくなっていた。どの要素も含んだ科目やそれぞれの特徴を活かした科目が設置されている学科が増えていた。(3)課題解決を目的とした場合は、「ドリル」、「実験・実習」、「小テスト」の比重は減少し、「グループワーク」、「教え合い」が多く用いられていた。

3. グループディスカッション

アンケート結果および分析を受け、参加者の希望により、(2)知識定着、(3)課題解決をテーマとして2つのグループに分かれた後、それぞれ参加者自身の経験などをもとに、具体的な事例を出し合い、グループディスカッションを行った。以下に議論された内容の一部を紹介する。

3.1 グループ分け

アクティブ・ラーニングを進めるあたり、良く用いられるのがグループワークの実践である。そこで、「グループ分けをどう行うか?」、「1グループの最適人数は?」、「指導できる最大グループ数は?」などの質問が出された。これらに対して、「実際の役



割分担できる数がグループの最適人数である」、「欠席者が出て機能する人数（フレッシューズゼミ：1グループ3を原則）」などの意見が出され、グループに分ける前に、グループ内でどう役割分担させるのが重要であるとの認識が共有された。

3.2 評価方法

グループワークの評価を如何に公平に評価するのか。ここでは、その評価方法の事例が紹介された。「必ず全員に発言させ、教員はグループの点数と個人の点数をつける」、「学生同士で相互評価させる」、「学生が作成した授業に対して学生が批評する（教職）」など、様々な方法が取られていた。

3.3 知識定着方法

学生に、現時点の自身の学習到達度を認識させ、今後の学習につなげる方法として次の事例が出された。「小テスト結果を学生自身に分析させる」、「テスト問題の分析を学生にさせる」、「小論文、レポートを交換させてお互いに採点させる」、「クリッカーを利用する」である。クリッカーについては、正答率・誤答率が即時に出るため、学生の興味は高いなどの事例が紹介された。

4. 参加者の感想

ワークショップの最後に参加者に対して、感じたままの感想を記入形式でアンケートを実施した。参加者からは、①他学部、他部門の教員の取り組みを知れた、②すぐ導入できる良いアイデアがあった、③教員側の意識の変化（学生の多様性を認める）が必要である、④アクティブ・ラーニングとは何か、疑問がある、などのご意見をいただいた。

また、1)活用できそうな取り組みをまとめて公開してほしい、2)具体例や評価法を知りたい、3)ワークショップのフィードバックをしてほしい、4)アクティブ・ラーニングの明確な定義を知りたい、5)グループ討議の時間がもう少しほしい、などのご意見もいただき、今後、FD 専門委員会にて、アンケート結果をさらに精査していきたいと考えている。

また、より詳細にまとめた内容を教育年報にも投稿している。そちらも是非ご一読いただきたい。



FD 専門委員会委員

- 委員長 岩崎敬道（共通教育／教職）
委員 岩尾 徹（工／電気電子）
熊谷正芳（工／機械システム）
栗原哲彦（工／都市工）
塩月雅士（工／エネルギー化学）
清水由美子（メディア情報／社会メディア）
白木尚人（工／機械工）
杉本 裕代（共通教育／外国語）
永江総宜（都市生活／都市生活）
中村正人（共通教育／物理）
野中謙一郎（工／機械システム工）
星 義克（知識工／情報科学）

編集担当（栗原・杉本）